

東海村における小規模事業者の

景況調査報告

平成31年4月～

令和2年12月

令和3年2月

東海村商工会

目的：

東海村の小規模企業者の景況感を継続して調査することで、当該地域における小規模企業者全体で景況感を共有することを目的とする。

方法：

製造業・建設業、小売・卸売業、サービス業（飲食店等を含む）からサンプルの小規模企業者を約 40 社選び、四半期ごとに景況感の聞き取り調査を行う。聞き取り方法は、直接面接もしくは電話にて行う。

調査期間は平成 31 年 4 月～令和 5 年 12 月までとし、半年ごとに景況感をまとめ、報告する。

対象事業者：

東海村にて事業を行っている小規模事業者

調査項目：

- ① 売上高、販売単価、粗利益、資金繰り、人材確保、景況感について前年度同時期と比較した。
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響が、東海村の中小企業者にどの程度影響したかを調査した。
- ③ 東海村で事業を行う上で、現在認識している課題・問題点を調査した。

<調査項目の変更>

令和 2 年 4 月～

変更前

調査期間における設備投資の有無、および、今後の設備投資の予定を調査した。

変更後

新型コロナウイルス感染症の影響が、東海村の中小企業者にどの程度影響したかを調査した。

調査属性

製造業（食品加工業を含む）	9社
建設関連業	11社
小売業（卸売業を含む）	9社
サービス業（飲食、観光含む）	11社

事業者の規模

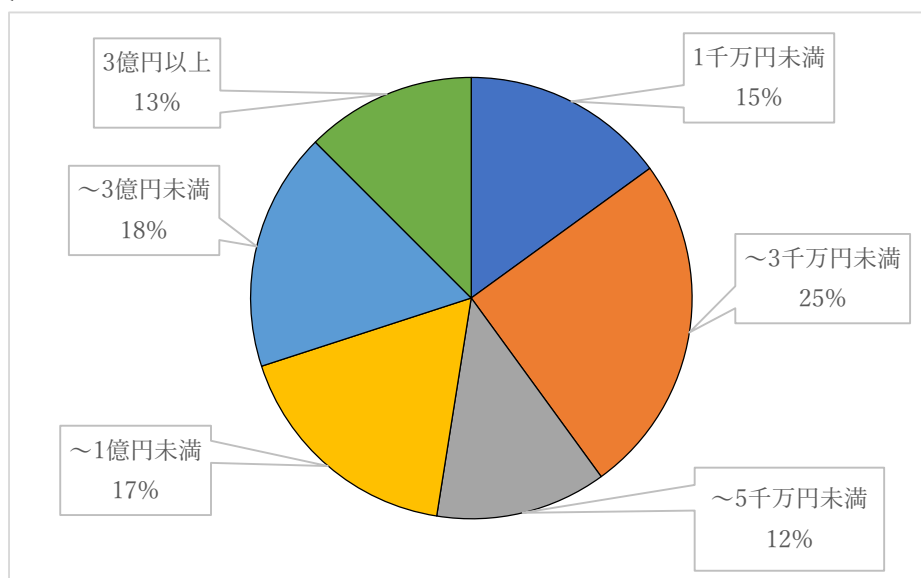


図1 売上規模による事業者の調査割合

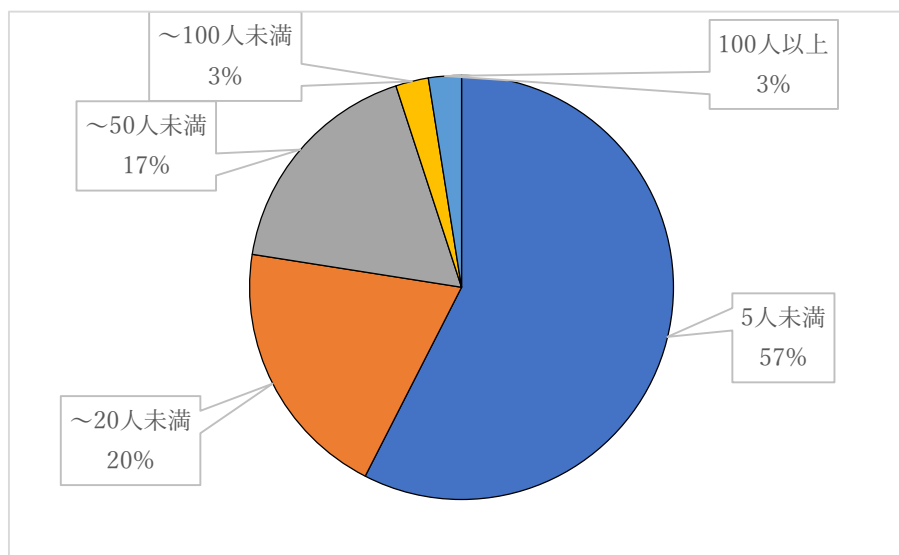


図2 従業員規模による事業者の割合

当該地域に関して特徴的な点は、小規模企業者（この資料では従業員20名未満）の割合が全体の7割を超え全国平均レベルですが、売上高の規模は1億円未満であり、単企業の売上高が高いことがうかがえます。

1. 景況感について

東海村では、令和2年に入り、新型コロナウイルス感染症の影響により、すべての業種で景況感が下がりました。一時期のD Iは▲50%を下回っていましたが、10月～12月にかけては回復の兆しが見えてきました。

東海村が他の地域と大きく異なるD I値の特徴としては、サービス業関連が比較的良い傾向にありましたが、コロナ禍に入ってからサービス業も低迷が続いています。

表1 令和2年10月～12月間のD I※1

	売上高	販売単価	粗利益	資金繰り	人材確保	景況感
製造業 (食品加工含む)	▲ 33.3	▲ 11.1	▲ 33.3	▲ 22.2	▲ 22.2	▲ 55.6
建設関連業	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 36.4
小売業 (卸売業含む)	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	▲ 50.0
サービス業 (飲食、観光含む)	▲ 45.5	0.0	▲ 18.2	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 45.5
全業種計	▲ 31.7	▲ 17.1	▲ 22.0	▲ 26.8	▲ 17.1	▲ 46.3

※1 D I (Diffusion Index : 業況判断指数)

「景気が良い」と感じている企業の割合から、「景気が悪い」と感じている企業の割合を引いたものを%ポイントで表した景気の判断指数の一つです。プラスは良くなった。マイナスは悪くなった。と、とらえることができます。

東海村における、全業種の平均D I の推移を以下に示します。

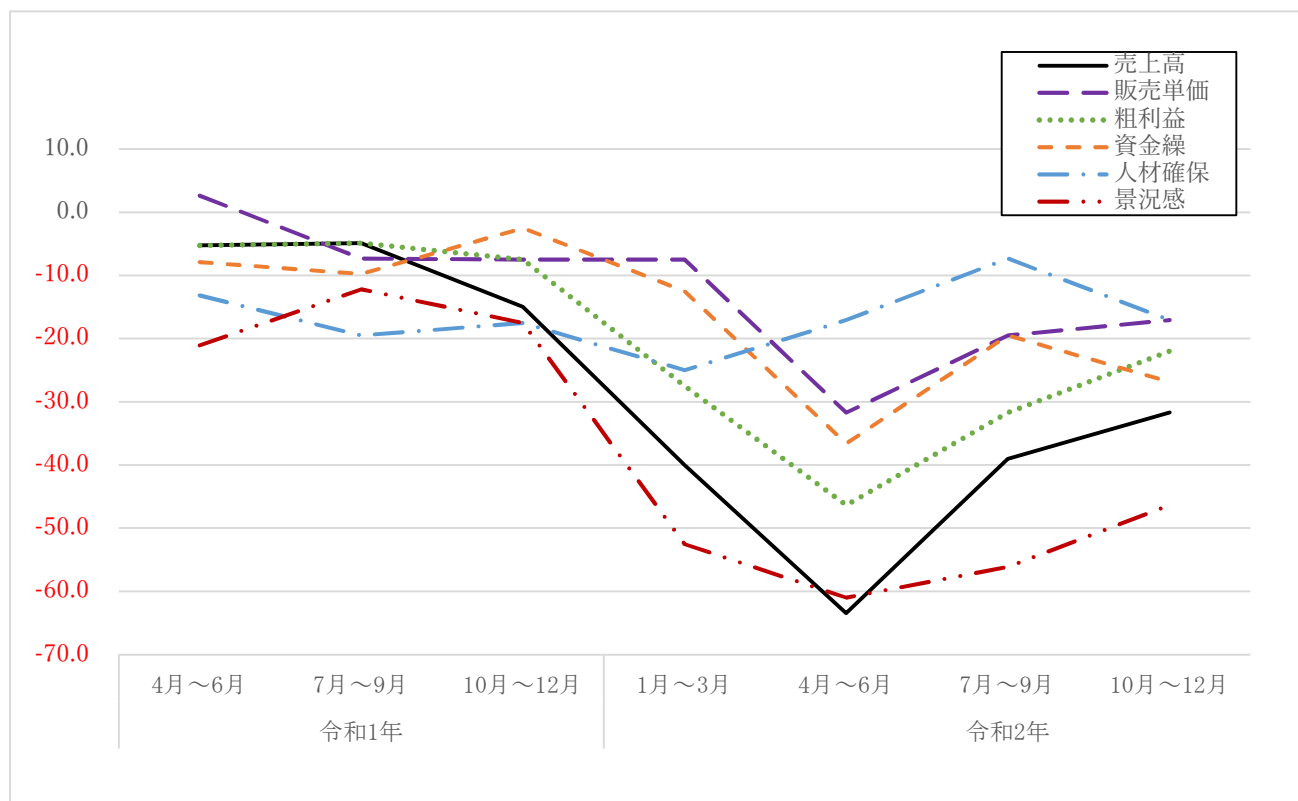


図3 東海村の全業種におけるD I の推移

図3では、全体的には、令和2年10月に入り、回復傾向がみられます。人材確保が難しくなったということも好景気が近づいた証です。

気になる点は、ここにきて資金繰りを問題視する企業が出てきたことでしょうか。令和2年7月～9月期は資金繰りが良くなってきたことを示していた企業も減ってきたとみるべきでしょう。令和3年5月あたりから一部の企業ではコロナ特別枠の借入返済が始まります。コロナ感染症の影響が終息したわけではないので、資金ショートへの注意が必要ではないでしょうか。

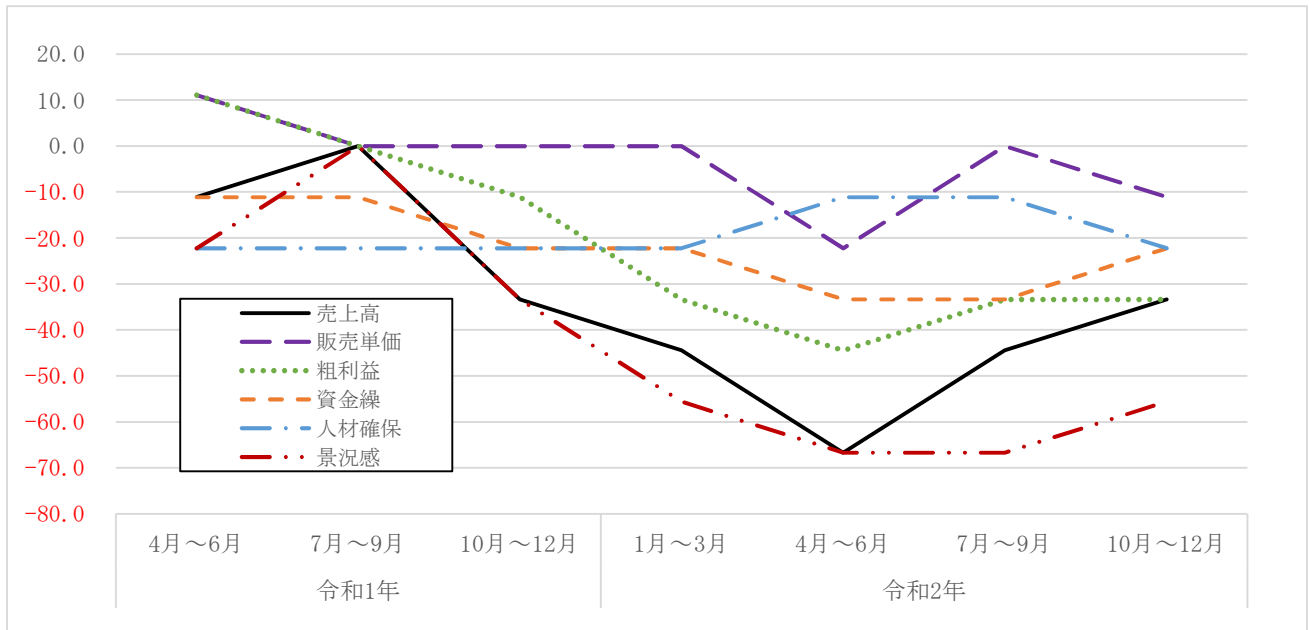


図4 東海村の製造業（食品加工業を含む）におけるDIの推移

図4の製造業では、令和1年の下期から低迷がはじまり、新型コロナウイルス感染症の影響でさらに失速したことがわかります。しかしながら、令和2年7月以降売上也徐々に回復し、それに伴い利益率や資金繰りなども改善傾向に向かっています。資金繰りの改善はコロナ特別枠により比較的安易に資金調達できたためである可能性も捨てきれません。そのため、今回借入をした企業は、返済計画を慎重に立てる必要性がでてくると思います。

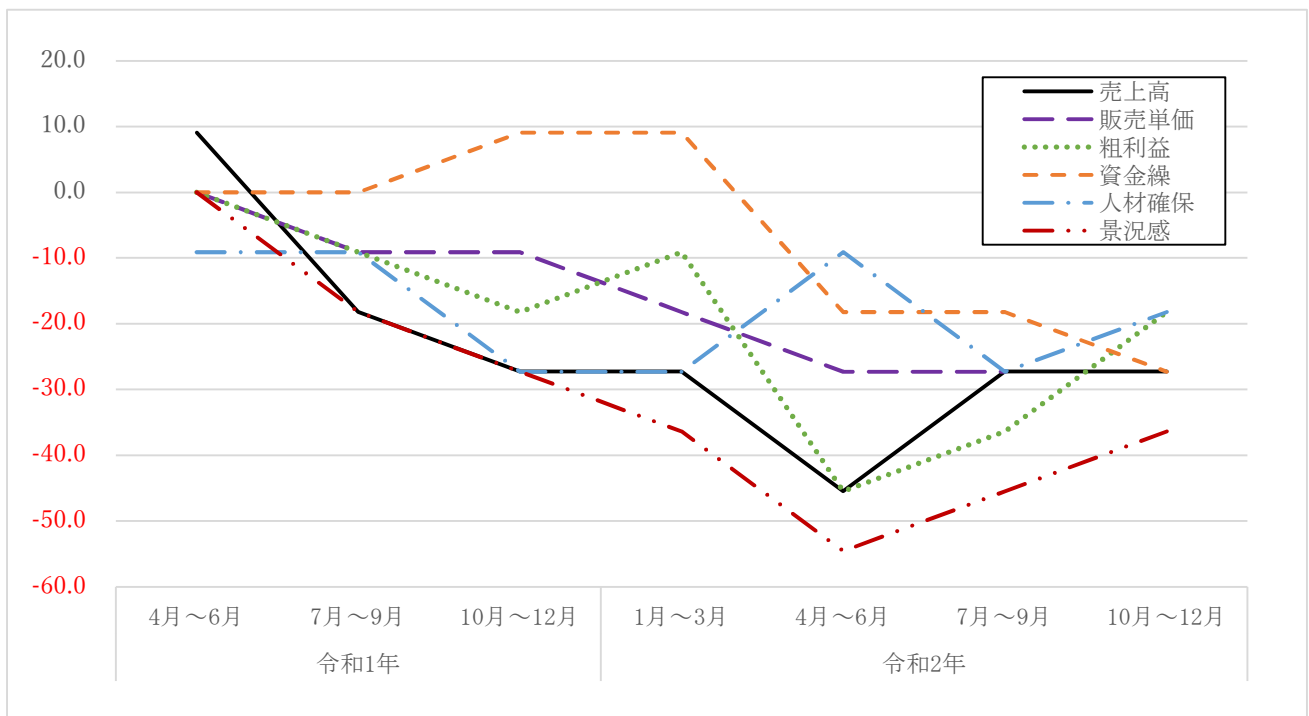


図5 東海村の建設業におけるDIの推移

図5は、令和2年1月～3月にかけて新型コロナウイルス感染症の影響が確認できなかった建設業界ですが、4月以降は人材確保以外のすべての項目でマイナス傾向が強まりました。建設関連は、7月ころからは十分とは言えませんが、回復傾向がみられます。

ただし、コロナ禍に入ってから資金繰りが下がってきていることが気になります。売上・利益が上がっているにも関わらず、資金繰りが悪化しているというのは、資金回収が難しくなっている？かもしれません。今後の取引先の動向調査が必要だと感じます。

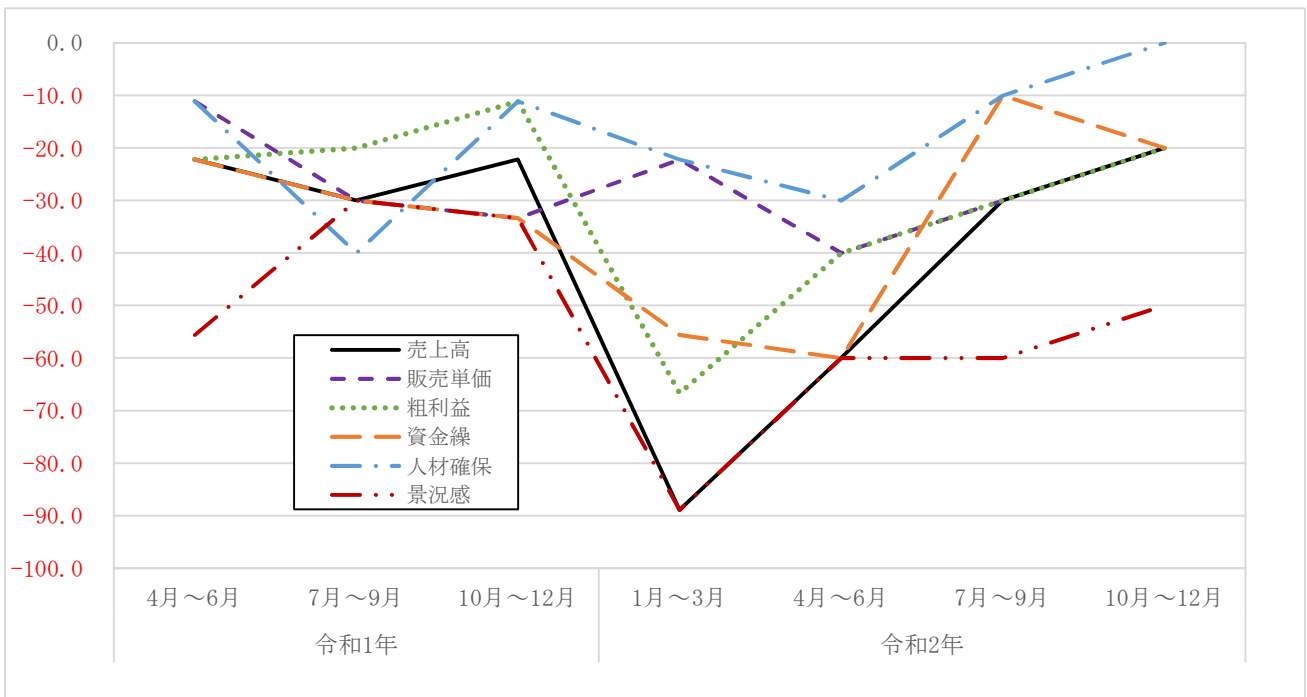


図6 東海村の小売業のD Iの推移

図6の小売業に関しては、全体としてはマイナスの傾向ですが、マイナスが大きく改善されています。調査した標本の内容をみると、建築関係とのつながりのある小売店・卸売店がプラス要因になっているようです。ただし、食品小売店でもコロナ禍の影響を受けずに、また、反対に業績が上がっている企業もあります。二極化したというイメージがあります。

コロナ禍で業績が下がっている店舗は、①コロナ禍が過ぎるまで出金を抑えて耐える。②補助金や給付金などを活用して新たな取組にチャレンジする。のいずれかになるかと思います。無策のまま、補助金を活用しないように心がけてください。一般的に3分の1は自分で払わなければなりません。

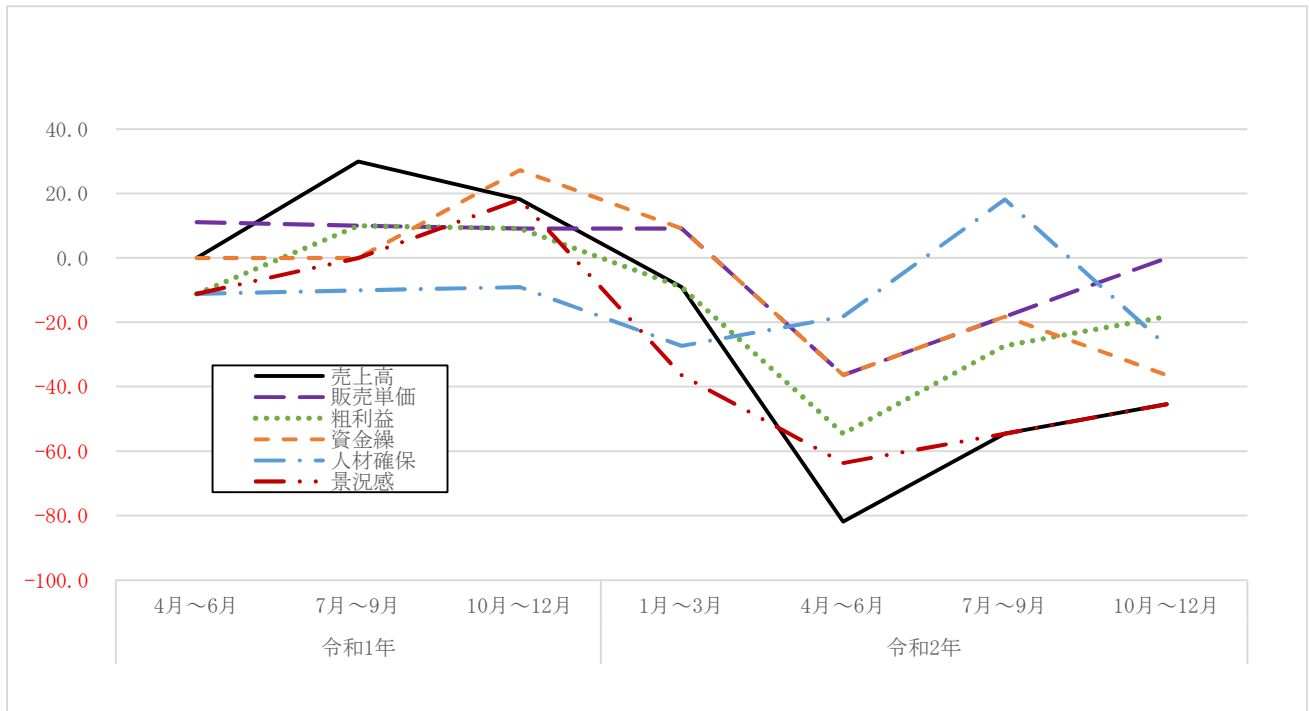
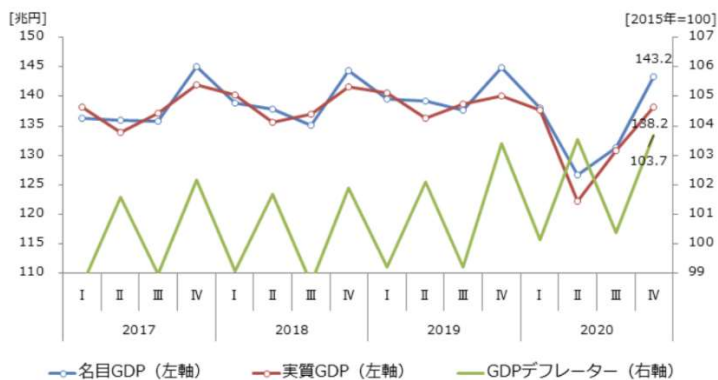


図7 東海村のサービス業（飲食、観光業を含む）におけるDIの推移

図7のサービス業（飲食・観光業を含む）に関しても回復の傾向がみられます。この業種も資金繰りに窮していることが伺えます。サービス業の中でも、飲食店・旅館ホテル業などが回復がみられないようです。Go Toトラベル・Go Toイートも尻切れの状態になっていますので、今後の経済回復・コロナ回復を待つ形になるかと思えます。

参考 東海村の景況感の動きは、日本のGDPの推移と似ています。

名目GDP、実質GDP、GDPデフレーター推移(原系列)



内閣府 四半期別 GDP 速報を基に GD Freak!が作成 (<https://jp.gdfreak.com/public/detail/jp010010001040100001/1>)

2. 新型コロナウイルス感染症の影響

図8では、新型コロナウイルス感染症が経営にどのように影響したかを調査しました。「特に行っていない」が増加傾向にあり、「給付金・助成金・補助金などの申請」がピークを過ぎたように見えます。また、「金融機関への融資（実質無利子・無担保制度）」が伸びています。コロナ騒動もひと段落過ぎ、新たな対応の時期に入ってきたかもしれません。

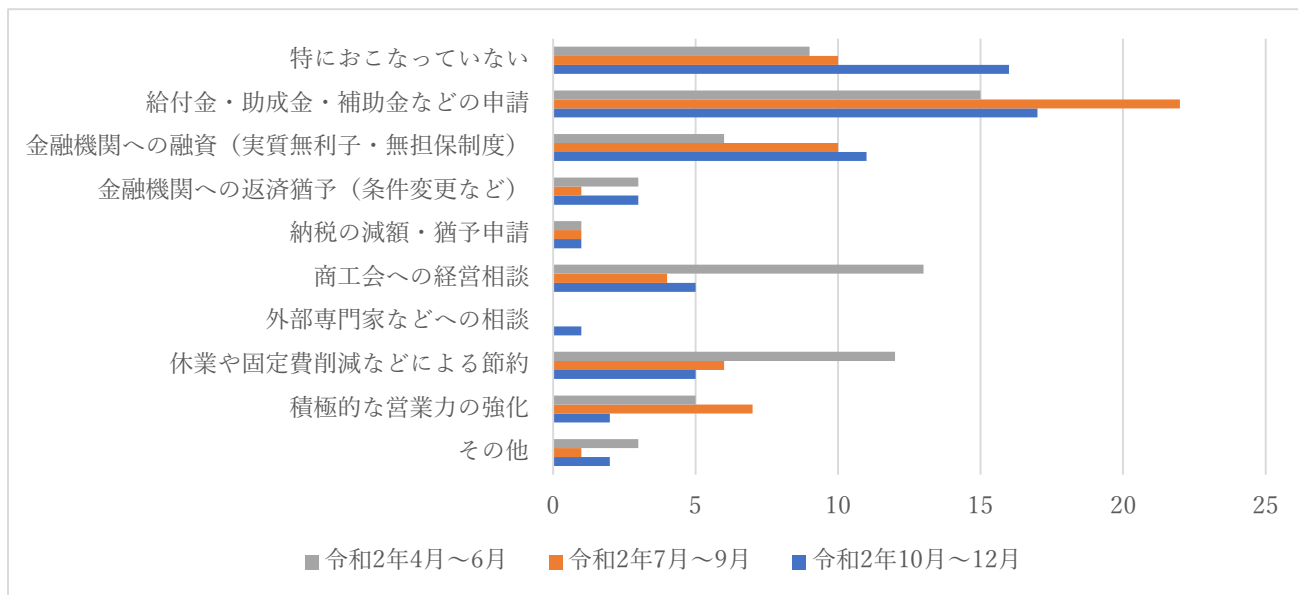


図8 新型コロナウイルス感染症の経営への影響

図9では、新型コロナウイルス感染症の影響で売上がどの程度まで落ち込んだかを確認しました。50%以上の企業がすでに影響がなくなったとしています。しかし、0～50%未満しか回復していない企業は、全体の30%ほど残っています。

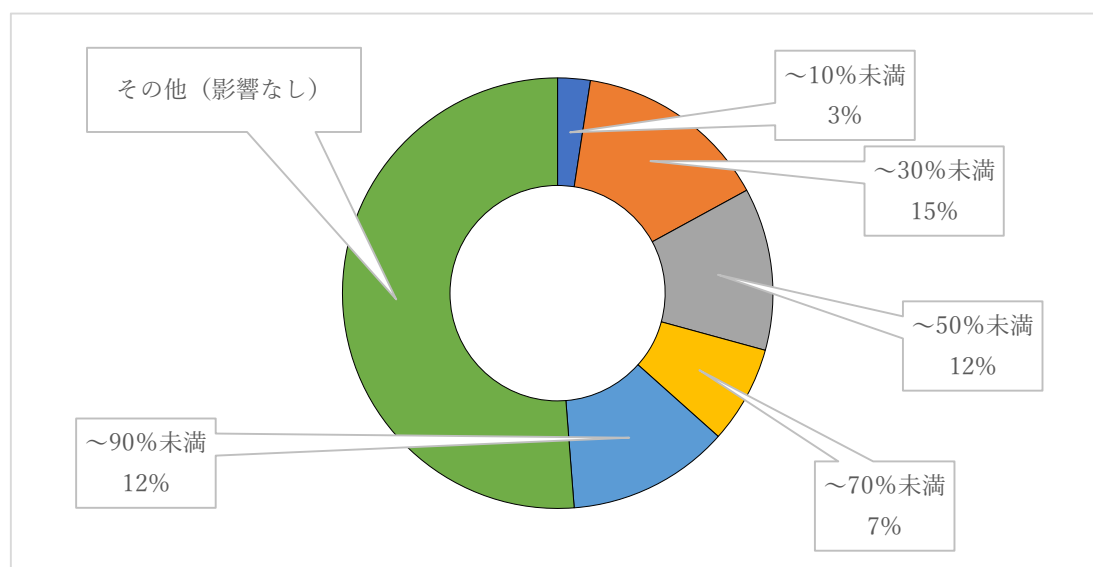


図9 売上低下の状況

図10では、新型コロナウイルス感染症の影響に対してのそれぞれの対策を調べました。「給付金・助成金・補助金などの申請」が、4月～6月では、全体の37.5%と意外と少なかったようにも感じられますが、7月～9月をピークに減少してきました。また、「積極的な営業力の強化」といった、この騒動をビジネスチャンスととらえる動きもあるようです。

後半になってから増えてきたのは、「金融機関への融資」です。実質無利子・無担保の制度が周知されてきたことがわかります。また、「積極的な営業力の強化」とあるように、この機会に借入をおこして新たなビジネスへの挑戦という考え方もあるのかもしれません。

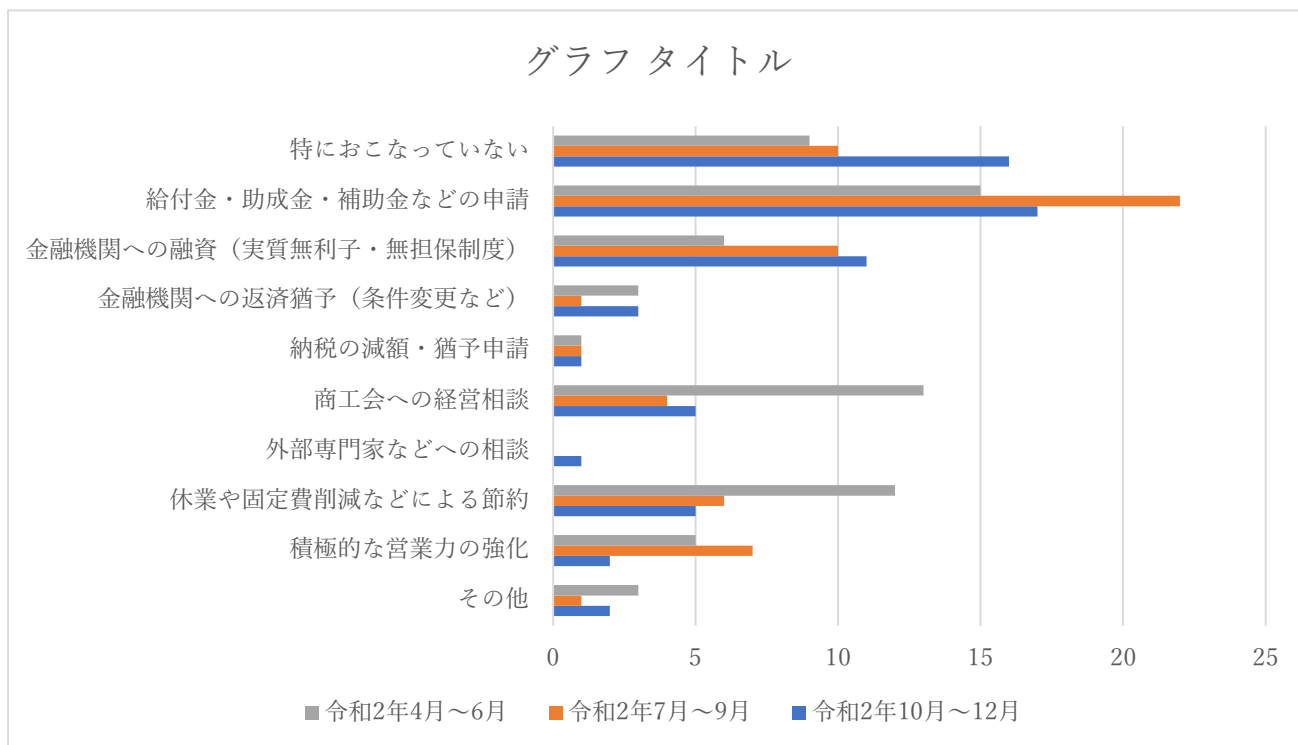


図10 新型コロナウイルス感染症の影響による対策

3. 小規模事業者の課題意識について

昨年度と本年度の課題意識を比較しました。

大手企業やライバル企業との競争の激化」が増加し、「需要の停滞・売上の伸び悩み」が減少しています。需要の増加を感じつつも、競争が激しくなっていて、一時期よりは景気が上向きになっていることが伺えます。

また、「資金繰りの悪化」を懸念する声が減ってきています。資金調達における不安が解消されていることが伺えます。

一時期令和2年1月～9月期では「事業承継難・後継者不足」の課題が少なくなりました。これは後継者問題が解決したと考えるよりも、将来よりも現状（コロナ対策）に目が行ったためであろうと推測します。また、令和2年は経費の増加、人件費の増加が気になるどころです。

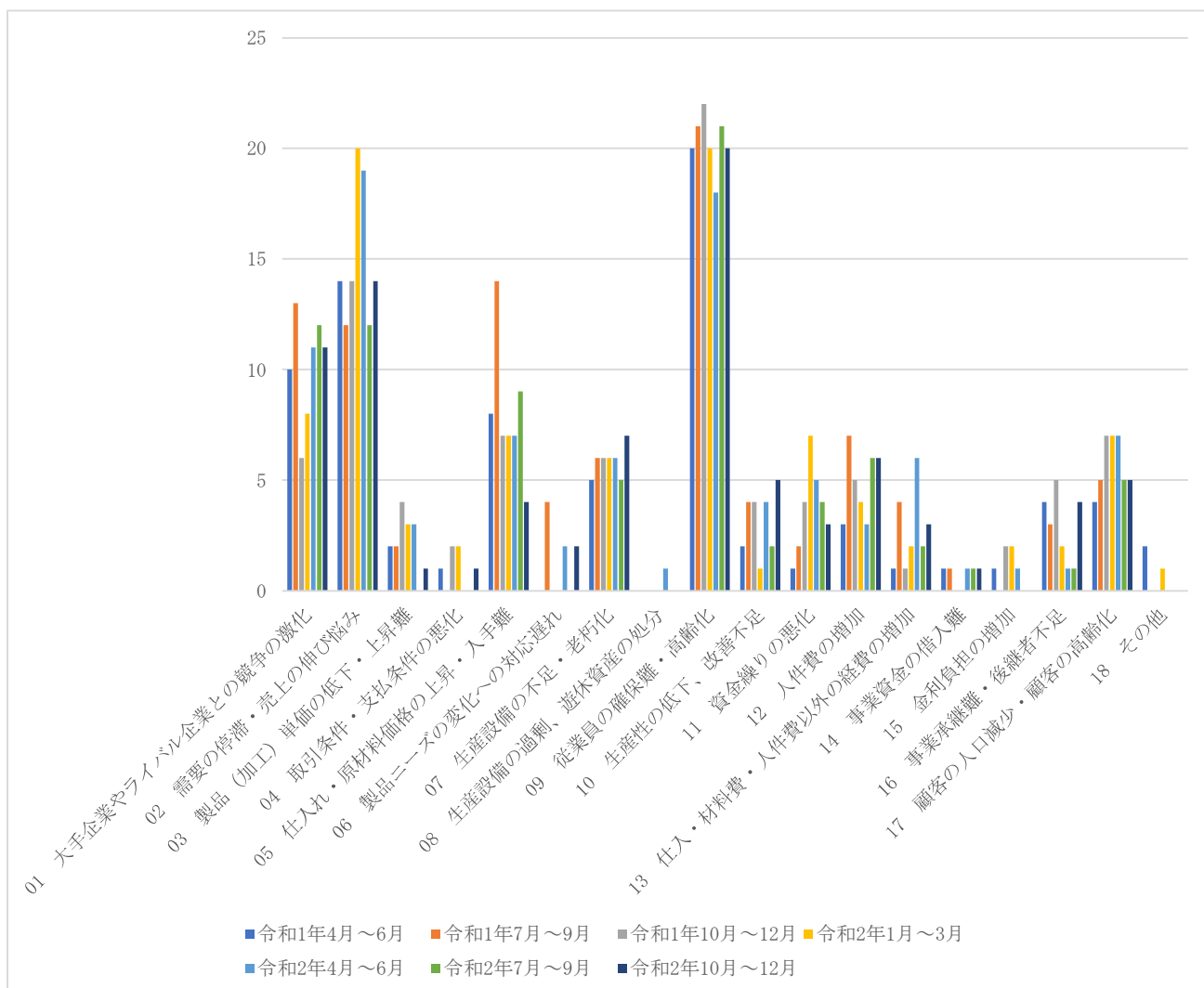


図9 東海村における小規模事業者の課題意識